



第4回えちごかわぐち物語'02冬 雪洞火ぼたる祭

地区のエネルギーを一つに、シンボルタイムツ目指して雪上を駆け抜ける「勇壮タイムツ競争」。
 今年の優勝を見事勝ち取ったのは田麦山地区。
 シンボルタイムツに点火し、満面の笑みでガッツポーズ！

陽気もすっかり春めいてきたと言ったよい。二月二十日頃から朝晩の冷え込みが無くなったのだ。今年も温暖化の影響で真冬の雨の日が続いたかと思つと三ヶ月の気温の日はあった。すいぶん変則的な気候であつた。外気は摂氏九度を表示して、車窓から見る魚沼地方の雪景色も春の開放感が感じられる。広神から守門へと入るにつれてさすがに雪の量も多くなると。今日(二月二十七日)は、豪雪地帯対策特別措置法の改正に伴う衆議院の災害対策特別委員会による現地視察があり、会場に向かうところ。

政府は、厳しい財政事情を背景に調ゆる公共事業に対する風当たりを強くしてきている。反コラム面都市については、都市再生と称して積極的に事業投資を進めて行くこととしている。あたかも世相は、公共事業とはムダ使いしている地方の事業の代名詞のように扱っているように見える。私は、「都市再生の前に地方再生を」と言いたい。私の地方再生論は、市町村合併論を包含

町長室から ④

川口町長 星野和久

していると言つてよい。しかしだからと言つて、始めに合併ありきと言う主張とは一線を画しています。国土を再全していく手順を言つて急進に進み、過疎化に歯止めのかからない国土の七割を占める中山間地域の抜本的対策こそ、最優先ではないかと。人工の営造物から成る都市は破壊と再生を繰り返しながら発展していくことができません。しかし中山間地域は自然を相手としており破壊されたら取り返しがつかないのです。破壊の第一歩は、なにより人が住まなくなることで。人間が生命を育むために欠かす事のできない産業としての農業を営む農村地域の担い手は、高齢化しており再生の糸は極端に細くなつていす。都市と異なり、大自然には破壊から再生への連鎖の糸は存在しないと言つてよいのです。

会場に向かう車窓からの日ざしは一段とまぶしさを増していた。

川口の山野草 ⑤
サンカクイ (カヤツリグサ科)

別名 サギノシリサシ

湖葦にまじれる草の知草の
 人みな知りぬわが下思

萬葉集 卷11-1246八

(ひそかに思いそめた恋だったのに、入江の葦に混じつてはえてる知草のように、もうみんなに知られてしまつて……)の意。
 知草というのも妙な名ですが、三角筒であらうとされています。三角筒は別名をサギノシリサシ。



茎の先が尖っているのが、水辺の鶯のお尻を刺してしまつた名だといひます。それをつづめてシリクサ。そこで「知り」と響きあうことになり、ひそかな恋が知られてしまった意をこめるようになったというの、おもしろい経緯です。知られてしまったことだけに触れたこの歌には、秘めた思いのひたむきな情まじりが、ほのかに匂つてまいります。

サンカクイは、茎の断面が三角形であることからついた名だとされています。別名は直立した苞の先が尖っていることによりです。

自生地は池や沼、川岸などで、高さ0.5~1.2mの多年草で、細い根茎が横にのび、節から茎を立てて群生します。茎は三角形。葉はふつう葉鞘だけになっていますが、ときに短い葉身があります。茎の先に長さ2~5cmの苞が一個直立し、そのわきから二・三個の枝をだし、先端に二・三個づつ小穂をつけ、小穂は長さ0.8~1.2cmの長卵形。柱頭は二個。果実はレンズ状で黄褐色。果実より長い刺針が三・五個のびます。花期は七月十月。分布は日本全土で、川口では田麦山地区に多く見られます。

(写真・文 木沢 鈴木良治さん)

あとがき

雪洞火ぼたる祭では、各地域の多数の皆さんから参加いただき大変ありがとうございました。▼町の持っている冬の資源「雪」を最大限に活用し、全町民、全地域が一体となつたまつりづくり。「灯り」をキーワードに、一人ひとりの心が一つになり、町中を包み込むキャンドルの灯りで心が温かくなる。▼この祭りを振り返つた時、これからのまちづくりや地域づくりを進める中で、大切なヒントを私たちに教えてくれているような気がします。

2月10日 昼の部



◀スリル満点!
越後三山スノーライダー



▲雪上ゴルフ



▲家族雪上チャレンジゲーム



▲地区館対抗雪上レクリエーション



各地区で雪灯りコンテストを実施
町中にアイデアあふれる雪灯りが作られました。



参加いただいた皆さん、ありがとうございます!
今年も晴天続きで、雪洞や雪灯り廻廊作りには大変な苦労にもかかわらず、大勢の町民の皆さんから参加いただき、「雪洞火ほたる祭」は大成功のうちに無事終了することができました。
皆さん一人一人の手によって灯されたキャンドルが町中を温かな灯りで包み込み、町民が一体となった祭りを創り上げることができました。
参加いただいた皆さん、本当にありがとうございます!

雪洞火ほたる祭

第4回えちごかわぐち物語02冬

「駆け抜けるー雪上の勇者たち」をキャッチフレーズに、「第4回えちごかわぐち物語02冬 雪洞火ほたる祭」が開催されました。今年も町内の各地に3万本のキャンドルが灯り、メイン会場となったキャンパス川口多目的広場には町内外から大勢の人々が集まりました。



2月9日 夜の部

▼シンボルタイマツ目指し雪上を駆け抜ける各地区選りすぐりの勇者たち



▲フルート・トランペットの生演奏



▲西川口地区から初の女性勇者が誕生!



▲タイマツみこしの入場!



▲ふるさと雪洞ぼたる



▲ふるさと市場



▲食の幸めぐり

町営バス等の運行方法についてこの案がまともになりました。

現在町では、路線バスが運行されていない地域の生活交通手段確保のため、町内循環路線バス3路線と、代替路線バス2路線について、町で補助を行いバス事業者により運行しており、その他、福祉や保健の目的で福祉タクシーを運行しています。

平成14年2月から道路運送法の改正により、バス事業への参入が免許制から許可制になりこれらが容易となること



や、今後更に町民の利便性向上を図るために、スクールバス等を含め運行経路・形態(直営、委託等)・回数等の見直しを検討する中で、スクールバス・保育園バスへの一般者の混乗や空き時間の有効活用、また、乗合タクシーの採用などを、住民代表、交通機関、町商工会など関係機関22名による「交通計画策定検討委員会」をつくり生活交通確保のための交通計画の策定を行ってきました。

この交通計画に基づき、平成14年4月から町営バスの試行運行を8月まで行い、これらについて更に研究し、9月からの本格運行を目指します。

詳しい時刻表、運行ルート、料金などは、3月の連絡長会議において全戸にお知らせします。

問い合わせ

企画商工課 ☎89-3112

◎バス運行方法の見直し案

種 類	現 行 バ ス 路 線 等	見 直 し 案		
		系 統 名	行き(登校)	帰り(下校)
町内循環路線バス	荒谷—川口温泉	スクールバスの空き時間を活用	乗合タクシーを運行	行き…直営 帰り…委託
	峠—川口温泉—ぬくもり荘	スクールバスの空き時間を活用	スクールバスの空き時間を活用	直 営
	小高—川口温泉	スクールバスの空き時間を活用	乗合タクシーを運行	行き…直営 帰り…委託
代替路線バス	小千谷—川口—田麦山	継 続		委 託
	小千谷—川井—南中	継 続		委 託
福祉タクシー	牛ヶ島線	廃止(スクールバス混乗により対応)		—
	西川口線	廃止(スクールバス混乗により対応)		—
	和南津線	継続(使用料金検討)		委 託
スク ー ル バ ス 保 育 園 バ ス	和南津方面	継 続		直 営
	田麦山方面	住民の混乗(一緒に乗り合わせる)		直 営
	木沢方面	・住民の混乗 ・空き時間循環路線バスに活用		直 営
	上川/荒谷方面	・住民の混乗 ・空き時間循環路線バスに活用	住民の混乗	直 営
	上川/西川口方面	・住民の混乗 ・空き時間循環路線バスに活用	住民の混乗	直 営

平成14年4月から

新潟県の出先機関は「地域機関」に変わります。

県の出先機関は、「地域振興の拠点」「市町村との連携・支援の拠点」「県民サービス拠点」として機能する「地域機関」として位置づけ、各分野で互いに連絡調整しながら業務を総合的・一体的に行う機関に変わります。

大きく変わるポイント

その1

地域振興事務所ができます。

・県の各分野で行う個々の仕事を調整し、総合的に実施します。

・県内13地域に地域振興を担当する「地域振興事務所」を設置します。

(13地域) 村上、新発田、新津、新潟、巻、三条、長岡、小出、六日町、十日町、柏崎、上越、糸魚川

その2

「県民サービスセンター」など身近な窓口を各地域に設置します。

・ご相談やご要望に、素早く適切にお応えします。

・県民相談、行政情報提供の窓口を各地域振興事務所に設置し、県民の皆さんから

のご相談やご要望を、お住まいの地域で伺えるようになります。

・バスポートの申請・受領が従来の県庁、長岡、上越、相川の4か所の窓口に加えて、新発田と六日町でもできるようになります。

その3

保健所と地域福祉センターを統合し、「健康福祉事務所」とします。

・保健、福祉、医療に関する行政サービスを総合的に実施します。

・各保健所の建物などを利用

問い合わせ

新潟県総務部新行政推進室
TEL 025-285-5511 内線 2132
ホームページ
<http://www.pref.niigata.jp/>

六日町児童相談所からのお知らせ

4月から県の機構改正により地域福祉センターと保健所が組織統合されますが、相談所業務は引続き現在の場所(上越線「六日町駅」前の庁舎)で行います。

問い合わせ

六日町児童相談所
六日町身体障害者更生相談所
六日町知的障害者更生相談所
住所 南魚沼郡六日町大字六日町21-20
TEL 0257-70-2400 FAX 0257-72-8123
※ 4月以降も住所、電話、FAXは変わりません。

して「健康福祉事務所」を設置し、保健、福祉、医療の相談窓口を一本化します。

その他変わる点

・財務事務所は、県税業務を専門に担当する「県税事務所」に名称変更されます。

県民の皆さんの視点に立つて改革を進める「県民起点」を基本理念に、縦割り行政の弊害を取り除き、「地域機関」として地域の課題や要望に総合的に対応できるよう、出先機関改革を進めます。



川口都市計画用途地域の変更

諮問内容のとおり答申される

2月1日、役場において川口都市計画審議会が開催され、町より諮問されていた、東川口地区の一部についての用途地域の変更など3件の諮問内容が審議され、原案のとおり異議の無い旨の答申がなされました。

この答申を受け、用途地域の変更については、県の手続きを経て、平成14年4月1日より施行となる予定です。

用途地域変更の必要性とその内容

川口町では、平成22年度を目的とする「第4次川口町総合計画」及び「都市計画マスタープラン」において、東川口地区を、快適で充実した住環境と利便性の高い商店街の整備による川口町の活性化の拠点、世代間の交流増進を行う区域と定めています。

このようなまちづくりの方向を踏まえると、東川口地区西部の工

場立地区及び隣接の旧工場立地地区においては、町の活性化に向けた雇用の維持拡大のために、周辺の居住環境を悪化させるおそれのない工場等を配置して、職住近接を図ることが有効であると判断されます。

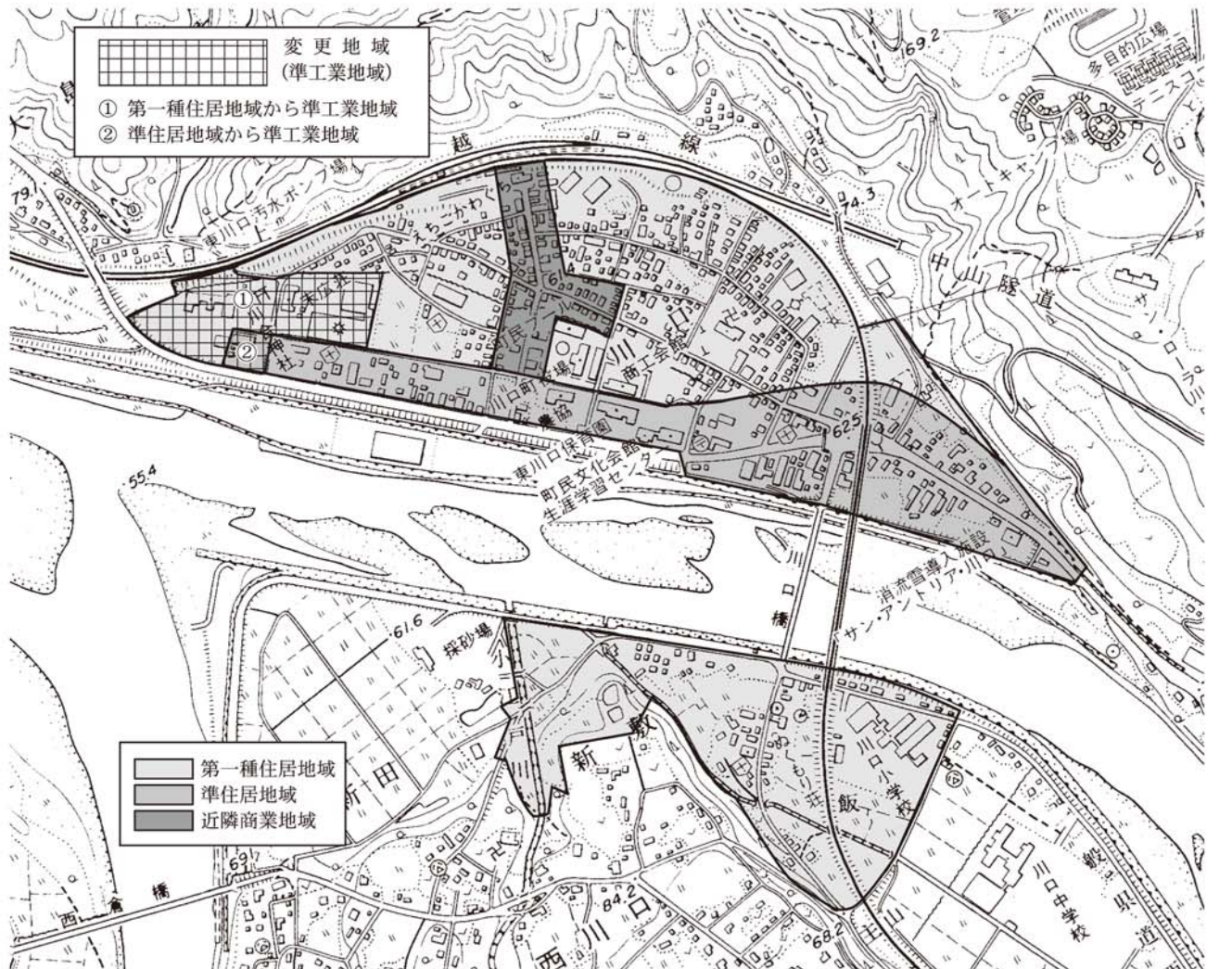
しかし、現行の第一種住居地域、準住居地域の指定のままでは有効な土地利用が困難であるため、今回準工業地域への変更を行うものです。

この変更内容については、昨年の住民説明会や県担当課、関係機関等の協議を重ね原案を作成し、今回都市計画審議会へ諮問されたものです。

●変更内容

東川口地区の第一種住居地域の内約3.4㌥と同準住居地域の内約0.3㌥計約3.7㌥が準工業地域へ変更となります。

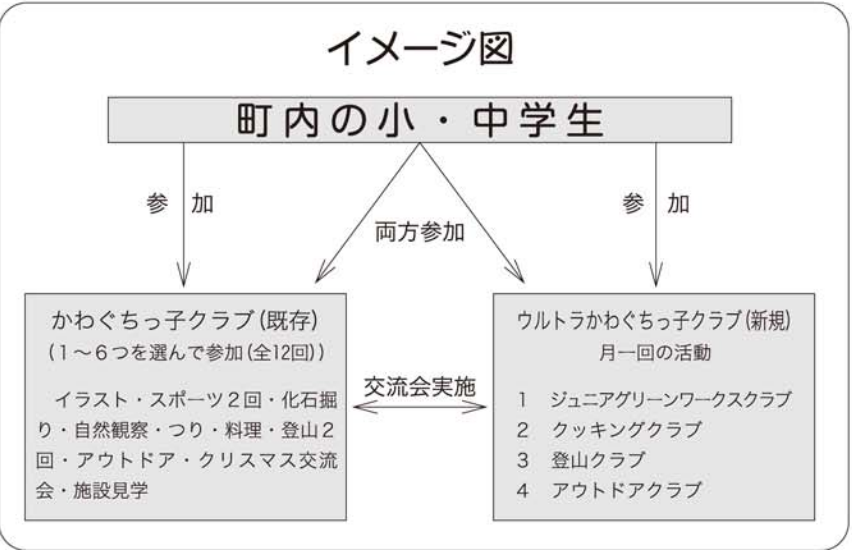
問い合わせ
企画商工課 ☎89-3112



完全学校週5日制 ③

『ウルトラかわぐちっ子クラブ』『がスタター！』

1月号から3回にわたり紹介しているシリーズ「完全学校週5日制」。今回は、完全学校週5日と併せて4月からスタートする「ウルトラかわぐちっ子クラブ」をご紹介します。



既存の事業は継続して実施

子どもたちにも大変人気のある今までの「かわぐちっ子クラブ」の事業は継続して実施します。年間12回のうち興味のあるものを自由に選択し、参加できます。

登山や川遊び、イラスト教室やクッキングなどは行き先、内容を変更しながら継続して実施し、また、柏崎・刈羽の原子力発電所見学などの新規の事業も計画されています。これらは、町内の小・中学校の生涯学習担当の先生と教育委員会が組織する「子ども地域活動促進実行委員会」で、昨年度の反省を踏まえて企画されました。

新たに実施する事業

「ウルトラかわぐちっ子クラブ」

新たに、人気のあるジャンルを年間を通して活動できる事業が計画されています。細密画家松岡達英先生を講師として行なうイラスト・工作クラブ「グリーンワークスクラブ」、日本料理から外国料理までさまざまな料理を作る「クッキングクラ

ブ」、県内外の山岳を登る「登山クラブ」、つりやキャンプなど主に野外で行うイベントが盛りだくさんの「アウトドアクラブ」の4つのクラブ活動が始まります。年間を通して活動することで、学校間・異年齢間交流が進み、また専門技術や知識の習得が段階に向上することが期待できます。

助成金事業を活用

子ども地域活動促進実行委員会では、国の助成事業「子ども夢基金」を活用して、この事業を実施していきます。

この助成金は子どもたちのさまざまな体験活動について助成されるもので、講師の謝金などに充てられます。

地域のボランティアを募集

新たに実施する登山・クッキング・アウトドアの各クラブは、講師や講師を補助していただける人材を必要としています。また、各ジャンルにおける内容は、子どもたちにより決められます。「こんなことをやったら講師になれる」



▲ホワイトフェスティバル
クリスマスツリー作りに挑戦!

といわれる方も大歓迎です。さらに、専門知識を持たなくとも、子どもたちと一緒に活動してみたいという方には、是非ボランティアとして参加していただきたいと思っています。

申し込みは教育委員会生涯学習課 (☎89-2119) までお願いします。

地域で子どもたちを育てよう

学校週5日制が始まることで、子どもたちは地域に関わる機会が多くなります。「地域が子どもを育てる」という言葉がありますが、まさにこの4月からの学校週5日制の始まりとともに、地域の教育力が問われることとなります。多くの皆さんから「ウルトラかわぐちっ子クラブ」に参加いただき、地域全体で協力しながら、子どもたちを育てていきましょう。



犬の飼い主の皆さんへ

犬の適正な飼養管理についてのお願

糞の後始末をきちんと
しましょう！

最近、犬の飼い主のモラル違反と思われる苦情が後を絶たず、その対応に苦慮しています。

犬を散歩させる際に、糞を置き去りにしたり、川や用水路、他人の敷地などに投げ込む人がいるとの苦情がたくさん寄せられています。人が見ている、いないにかかわらず、糞の後始末はきちんと行ってください。

犬がやたらと吠えない
ようにしましょう！

犬がやたらと吠えるのは、散歩や食餌などを催促しているケースが多いものです。毎日、決まった時間に散歩をさせているとそれが習慣と

なり、犬はその時間になると早く散歩に行きたくて催促するようになります。散歩は、むしろ人間の都合で気まぐれに行つた方が良いでしょう。

食事についても同じことです。まず人間が食事をし、その間、犬は待たせておいてください。その間に吠えたら、厳しく叱ってください。人間の食事が終わってから、犬がおとなしく待っていたら食餌を与えるように習慣付けましょう。

訪問者が玄関に近づけないような飼いはやめましょう！

玄関先に犬がつかないであり、訪問者が近寄れないような場合が見受けられます。「番犬として飼っているのだから」と言っても、そのような

飼い方をしている犬にかまれる事故も少なくありません。訪問者への配慮を忘れずに！



犬を飼っている人が他人に迷惑をかけないようにするのは最低限のモラルです。

犬を飼っていない人からも理解が得られ、人と動物が共存できる明るい社会を作るためにも、皆さん一人一人の責任感と心遣いをお願いします。

国保からのお知らせ

交通事故にあい国保で治療を受けたら…

交通事故など第三者の行為によって受けたケガの医療費は、原則として加害者が全額負担すべきものです。しかし、その賠償が遅れるときなどは、一時的に国保で治療を受けることができます。ただし、あとで国保が加害者に請求しますので、必ず町民課窓口まで届出をしましょう。

国保加入者が 交通事故に あつたら？

第三者による
傷病届

を国保の窓口に届けてください。



届け出に必要な書類

- 保険証
- 印かん
- 事故証明書

(そろわないときは後日でも可)

問い合わせ 町民課保険係 ☎89-4418

川口町の介護保険

③

第1号被保険者介護保険料のしくみ

第1号被保険者保険料(65歳以上の方の保険料)は、3年間(平成12・13・14年度)の介護給付費を見込んで決定します。

そのため保険料は原則3年間据え置きされています。ただし、被保険者一人一人の毎年所得や世帯の課税状況により保険料階層を決定するため、保険料が変わることがあります。また、平成12・13年度は国の特別対策で保険料が減額されていました。

3年間の介護給付見込み

川口町の介護保険の保険料(基準額)2、600円(月額相当)は、(表)のように給付を見込み、決定されました。結果として、平成12年度は、ほぼ当初の見込みどおりとなり、平成13年度も当初見込みを多少下回る程度となっています。

(表) (単位:万円)

	当初給付見込み額		実績(見込み)月平均	実績率
	年額	月額換算		
平成12年度	21,390	1,945	1,946	100.05%
平成13年度	27,896	2,325	2,300	98.92%
平成14年度	32,222	2,685	?	?

※平成12年度は11ヶ月予算のため、月額に換算して比較しました。
※平成13年度月平均は実績見込み。

なお、介護保険制度では、この給付費の6分の1を65歳以上(第1号被保険者)の方から保険料として集めることとなっており、これによって保険料が決まっています。見込みと実績の違いは、次の3年間の保険料で調整します。例えば給付費が多くなった場合は、不足分を次の3年間の保険料に上乗せして集めることになり、少なかった場合は、余った保険料を次の3年間の保険料に補てんします。

「医療費助成制度」 利用者の皆さんへ

受給者証に変更があった場合は届出が必要です。

県と町で実施している医療費助成事業の受給者の方で、受給者証の内容に変更があった場合は届出が必要です。次のような場合は必ず届出をしてください。
加入している医療保険が変わった場合(すべての医療費助成制度が該当)
仕事の関係等で加入している医療保険が変更になった場合は届出が必要です。また、社会保険と国民健康保険では医療機関

での手続方法も違います。加入医療保険が変更になった場合は、速やかに届出をしてください。
家族構成が変わった場合(ひとり親・老人医療費助成制度)
ひとり親及び老人医療費助成制度は、世帯の家族構成等により、受給対象者が変わります。家族構成が変わった場合は、役場の窓口で住民票関係の届出と同時に手続をしてください。

医療費助成制度の概要

助成の内容(老人医療助成を除く)

- ◎通院…1日・1医療機関530円を超えた部分(同一月で同一医療機関に5日以上通院した場合は、5日目から全額)を助成
 - ◎入院…1日1,200円を超えた部分(食事の標準負担額を除く)
- ※どちらも保険対象となる医療費が対象です。

対象者

- 重度心身障害者医療費助成
身体障害者手帳・療育手帳所持者(障害等の等級に制限あり)
- 老人医療費助成
65歳~69歳のひとり暮らし老人及び寝たきり老人(老人保健法で定める一部負担金を超える部分を助成)
- ひとり親家庭医療費助成
ひとり親家庭の父もしくは母及びその児童
- 乳・幼児医療費助成
出生から4歳達齢月の月末までの乳・幼児

詳細については、役場町民課(☎89-4418)までお問い合わせください。

かわぐち学びの里大学 「長寿塾」

～1年間の活動報告～

高齢者の仲間づくり、生きがいを

高齢者の「仲間づくり、生きがいを」を目的として開催された教養講座「長寿塾」。豊かな自然や社会の変化に対する学習など盛りだくさんの内容で、本年度全8回の日程を終えました。「長寿塾」に参加された皆さんの学習の様子を一部で紹介いたします。



第1回（5月29日）
くらしの中の危険を考える
新潟県消費生活センター職員を講師に、健康な生活を築くためにどのようなことに注意すればいいのか、また、食生活の大切さや食品添加物などの安全性の知識などを学びました。
「多種多様な食品の中から私たちが毎日とる食品をどう選んでいくか、物があふれている今こそ正しい知識を持ちましょう」と講師の方からわかりやすく説明していただきました。



第3回（7月11日）
見て、触れて、知るリサイクル
清掃施設「クリーンスポット大原」で、ごみのリサイクル処理施設を見学し、清掃担当の職員からゴミの処理方法や家庭での分別リサイクルの重要性の説明を受けました。
参加者はそのゴミの多さや防臭システムに驚き、「家庭でも資源ゴミはリサイクルし、できるだけゴミを減らす工夫をしなければならぬ」など、身近な問題だけに活発な意見が交わされていました。
第4回（8月9日）
歴史散歩 縄文〜昭和
県立歴史博物館で縄文遺跡の展示を見学し、縄文の豊かな自然の様子や暮らしを学習しました。



第6回（10月24日）
紅葉津南、温泉めぐり
「紅葉津南」の自然を満喫しようと、津南町へ「自然温泉めぐり」

様子や暮らしを学習しました。また、雪国の雁木通りの町並みが再現された「雪とくらし」のコーナーでは、高く積まれた雪の壁と昔なつかしい「荒物・雑貨屋」や「下駄屋」などをのぞきながら、忘れかけていたかつての雪国の暮らしを思い出していたようでした。
送迎バスの中では、講師の横道雄さんから「原始時代の日本のよいうす」や「日本人のルーツ」をテーマに貴重な講演をいただきました。

にでかけました。この事業は参加者の意見を取り入れて計画されたものです。
秋晴れの中、参加者は紅葉を満喫し、「県高冷地センター」では高冷地における雪を利用した農業や野菜栽培を学習しました。
また、「竜ヶ窪の名水」を見学したり、温泉にゆったりとつかり心身ともにリフレッシュし、充実した1日を過ごしました。



第7回（12月22日）
よみかたの会
かわぐちっ子クラブとの交流事業として、長寿塾の受講生自らが講師となり、今までに身につけた知識や経験を生かした「技」を子どもたちに伝えてゆく試みが行われました。
「昔話の読み聞かせ」「あやとり」「竹とんぼ」「こま回し」「た

けなんご」などの昔遊びを熱心に講義・実演し、「今どき」の子どもたちとの異年齢間交流を楽しみました。
生涯学習推進協議会では、参加者の皆さんのアンケートや意見を基に来年度の「長寿塾」を企画中です。幅広いテーマでさまざまな実技体験学習を計画しています。皆さんも参加してみませんか。

各種大会結果

(敬称略)

中越教育美術展
特選
小山 彩夏 (川口小1年)
山森 絵莉 (川口小3年)
山田 恭子 (川口小3年)
仁多見里奈 (川口小4年)

新潟県ジュニア展
デザイン部門
奨励賞
江島 惇史 (泉水小1年)
江島 優奈 (泉水小1年)
小川 卓 (泉水小6年)
米山 咲 (川口小3年)
三輪 和子 (川口小3年)
小宮山成実 (川口小6年)
大淵 翔平 (田麦山小2年)
佐藤 杏奈 (田麦山小2年)
絵画部門
奨励賞
山崎 卓 (川口中3年)

第8回川口町小学校親善ク로스カントリー大会

2/15 キャンパス川口
団体の部 (1位のみ記載)
男子 田麦山A
女子 川口A
個人の部 (3位まで記載)
5年男子
1位 江島 裕哉 (泉水小)
2位 阿部 卓也 (泉水小)
3位 関 祐夫 (川口小)
5年女子
1位 古田島明美 (川口小)
2位 吉原有佳理 (川口小)
3位 小西友理絵 (川口小)
6年男子
1位 小川 卓 (泉水小)
2位 岡村 大輔 (川口小)
3位 広井 佳祐 (泉水小)
6年女子
1位 関 博子 (川口小)
2位 小西由希子 (川口小)
3位 丸山真奈未 (泉水小)

県高校総合体育大会
1/22 妙高高原町
複合
1位 森山 隆史 (小千谷高)
(ジャンプ・距離 各1位)

県スキー選手権大会
1/24 妙高高原町

少年男子
複合
1位 森山 隆史 (小千谷高)
(ジャンプ・距離 各1位)
ジャンプ
2位 森山 隆史 (小千谷高)

第39回甲信越ブロックスキー技術選手権大会

1/30 苗場スキー場
(県内順位を記載)
6位 佐藤 秀明
10位 佐藤 友和
22位 星野 博之

※3月4日～11日に長野県で行われる全国大会に出場が決定しています。

第51回全国高校スキー大会

2/8 青森県
複合
3位 森山 隆史 (小千谷高)
(ジャンプ1位・距離16位)

第3回川口町体育協会杯川口町オープンバドミントン大会

2/17 川口中学校

男子ダブルス
Aクラス
1位 高野・細川 (中野島)
2位 久須美・樋口 (小千谷)
3位 佐藤・遠藤 (飛翔)
Bクラス
1位 小態・管井 (飛翔)
2位 今井・大淵 (川口)
3位 小島・米田 (良遊会)
女子ダブルス
1位 池田・五十嵐 (飛翔)
2位 鈴木・堀井 (中野島)
3位 鈴木・斉藤 (川崎東)
斉藤・吉野 (豊田)

男子シングルス
1位 水落 将志 (下条)
2位 細川 哲 (中野島)
3位 佐藤 司 (中野島)
女子シングルス
1位 堀井 望 (中野島)
2位 五十嵐圭子 (飛翔)
3位 鈴木 智恵 (中野島)

第57回にいがた妙高スキー国体

2/20～2/22 妙高高原町
少年男子複合
1位 森山 隆史 (小千谷高)
(ジャンプ1位・距離10位)

保育園だより
「満員御礼」

田麦山保育園

日頃お世話になっている地域の方々やお家の方、そして小学生や先生方皆さんに、園児が感謝の気持ちを込めてサービスすることを目的に、「ここに感謝デー」が開催されました。



▲りんご組の肩たたきコーナー

は「ゲームコーナー」、年長組(ぶどう組)は「パーラー」を開き、半日ゆつくりと楽しんでいただきました。ぶどう組が、来てくださった方にインタビューをしました。「今日の感謝デーはいかがですか?」



▲みかん組のゲームコーナー

「がんばっている姿が、とってもいいです」
「気持ちいいので何回も肩たたきしてほしいです」
など…。また、小学生の答えは、「いすがちっちゃい」
それだけみんなが大きく成長したのにな!



▲ぶどう組のパーラー

えちご長岡地酒塾(川口コース)開催される

2月23、24日の1泊2日の日程でえちご長岡地酒塾がJRと長岡地域広域行政組合の主催で開催されました。

首都圏から18名が参加し雪国でのひとときを過ごしました。川口コースは「天然温泉と陶芸名人コース」と銘打って行い、1日目は酒蔵見学に始まり、雪灯り作り、郷土料理を楽しみました。2日目は雪原散策に陶芸体験、田舎料理作り餅つきなど、都会では味わえないつかの間の雪国を満喫しました。



▲ちまき作りに挑戦!

平成15年度歌会始めのお題および詠進歌の詠進要領

■平成15年度歌会始めのお題
「町」「街」の字を用いてもよく、これらの文字の入った熟語を使用しても構いません)

■詠進歌の詠進要領
詠進歌は、お題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首とし、未発表のものに限りません。用紙は半紙とし、毛筆で自書してください。

■詠進の締切
9月30日(月) 消印有効

■郵便のあて先
〒100-8111 宮内庁

あてに、封筒に「詠進歌」と書き添えて郵送してください。

詠進歌についてのお問い合わせは宮内庁式部職あてに、郵便番号、住所、氏名を書き、返信用切手を貼った封筒を添えて9月20日までお問い合わせください。

書式図(半紙を横長に)

Form for submitting a waka poem, including fields for address, name, and title.

宮内庁ホームページ
http://www.kunaicho.go.jp/

克雪住宅協調整備事業

補助金制度をご利用ください!

川口町では、克雪住宅(融雪式屋根、落雪式屋根、耐雪式屋根等)を後述の地区単位において普及することにより、住環境を向上させるため補助金の交付を行なっています。



地区指定(8地区)

- ①和南津地区 八郎場・上河原・長坂・下村
- ②中山地区 野田・中山・竹田・牛ヶ首
- ③東川口地区 川口1、7
- ④西川口地区 小和北・相川口・岩出原・山の相川団地・荒屋・新敷・原
- ⑤田麦山地区 新田・中新田・西倉・川岸
- ⑥牛ヶ島地区 前原・大形・田中・大谷内・小高
- ⑦相川・武道窪・荒谷地区 牛ヶ島・貝之沢
- ⑧武道窪・相川1、3・荒谷

補助金額の上限

融雪式:44万円
その他(落雪式・耐雪式等):33万円

過去の実績

平成4年から今年までの10年間で232件の補助を行ないました。町営住宅等の対象外住宅を除くと、約15%の住宅にあたります。

新築や増改築の際には、役場建設課(☎89-3114)までお問い合わせください。
平成14年度の受付は、4月1日から11月30日まで行ないません。

男女が共にあゆむ 町づくりに向けて

ひとひと「女と男パートナーシップづくりセミナー」を開催します

女性の社会進出が進む現在、川口町でも、共働き世帯や核家族世帯が増えつつあります。このように家族形態が変化しているにもかかわらず、私たちは昔からの習慣から、性別役割分担意識にとらわれていることが多くあります。

このたび加瀬由紀子さん(女性財団監事)をお迎えして「女と男パートナーシップづくりセミナー」を開催します。スライドを使つての講演と、参加者の皆さんとフリートークを交えながら、男女平等の視点で「家庭・地域づくり」について考えてみませんか?

- 日時 3月16日(土) 14時~16時
- 会場 生涯学習センター
- 講師 加瀬由紀子さん(女性財団監事)
- テーマ ひとひと女と男が社会・地域・家庭で輝けるために
- 問い合わせ 女性政策推進委員会(総務課) ☎89-3111



みんなの広場

サークル紹介 ④

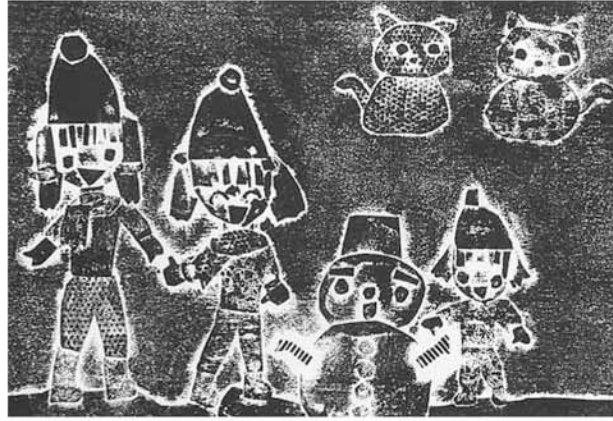


〈ユニバーサルホッケー〉

ユニバーサルホッケーをご存知ですか？体育館でできるアイスホッケーのようなスポーツで、老若男女を問わず誰でも気軽に楽しめます。

現在、3月10日に栃尾市で開かれる大会に向けて、中学生から社会人まで一緒になって楽しく練習しています。皆さんも参加してみませんか。

日時	毎週木曜日 18時～20時 (夏期は19時まで)
会場	生涯学習センター
連絡先	体育指導員 覚張 芳夫 (下村) ☎ 89-2284 星野志津代 (牛ヶ首) ☎ 89-2652



お姉ちゃんと妹といっしょに雪だるまを作っている様子です。三人姉妹なので、三人のからだをがんばって作りました。うしろでは、ねこが見えています。楽しそうなかんじが出てよかったです。

網 あすかさん (泉水小学校2年)

いきいきギャラリー

今月の味じまん ⑤ 切り干し大根餅



切り干し大根は栄養たっぷり。また水分が抜けている分うまみがギュッと濃縮されているので、生のものとは違ったおいしさがあります。さっと洗って、戻さず調理。この方が切り干し大根のうまみと甘味ができます。切るときもキッチンハサミを使うと便利です。

- 材料 (4人分)
- 切り干し大根 (さっと洗って一口大に切る)40gくらい
- 水.....100cc
- 白玉粉.....100g
- 青ねぎ (小口切り) ...適宜
- 桜エビ、ハムなど (みじん切り)適宜
- ゴマ油.....適宜
- 醤油.....適宜

- 作り方
- ①切り干し大根は水に入れ、5分ほどおく。
- ②白玉粉に①をつけ汁ごと入れてこね、耳たぶくらいの固さになるまで少しずつ水を (分量外) を足しながら、こねていく。
- ③青ねぎと桜エビ、ハムなども加えてよくこねたら食べやすい大きさにまるめてぺっちゃんこにし、ゴマ油をひいたフランパンで両面こんがり焼く。
- ④焼きあがったら表面に醤油を塗る。
- ◎桜エビのかわりに、中国の干しエビなら戻し汁ごと加えてください。
- ◎②の追加の水は、こねながら少しずつ足して、ちょうどよい固さにしてください。

提供：食生活改善推進委員協議会
丸山 久子 (牛ヶ島) ☎89-3831
阿部 英子 (武道窪) ☎89-3924

元気です！

かわぐちっこ ⑤

樋口 杏実 ちゃん (川口7・3歳)
おしょうさん
おあきさん
光生さん・優子さん



外で雪遊びをするのが大好き！スキーにも初めてのったよ。春からはよいよ保育園。お友達といっばい遊んでね！

冬を楽しもう！親子で雪合戦！

ふれあい広場保護者会行事

2月17日、ふれあい広場保護者会主催の「親子で雪合戦！」が行われました。児童とその家族93名が参加し、青空が広がる冬の日を楽しく過ごしました。



町民文化会館前の広場をお借りし、3チームに分かれての団体戦。前半は子どもたちだけの雪合戦、後半は大人vs子どもの雪合戦。当然大人の勝ちと思いきや白熱した対戦結果は子どもの圧倒的勝利で幕を閉じました。子どもも大人も目をキラキラさせながら元気いっぱい楽しめました。(大人は子どもの頃を思い出して、夢中で楽しんで筋肉痛になったのでは...) その後、「宝探しゲーム」を行い、大きな雪山の中から探し



出した子どもたちが「あった！みつけたよー」と、うれしそうなお声が響いていました。お昼は、みんなで作ったあつあつのトン汁とおにぎりを口いっぱいほうばり、笑顔いっぱいの日となりました。

俳句 大内迪子先生選

公民館句会 (1月8日)

初茶の湯福豆といふ京銘菓 佐藤 信
街を行くと、初釜かしらと思ふ着飾った人にこのころよく会います。静かな「松風」の音の中でお茶の香り、しんと静まった席。お茶菓子は京銘菓の福豆という。雅びな茶席の様子が目にうかびます。

もてなしに酔うてもをれぬ吹雪かな 上村たつお
たまたま年始に行くと「さあさあ召上がれ」と地の銘酒の封を切り御馳走を下さるが、をりから外は猛吹雪。うかうか酔うても居れぬという雪国ならではの実感。

豆木焚き若水沸かし家例守る 新宮 山紫
昔から元旦は、その家の家長が一番に起き若水を汲み、豆穀でお湯を沸かしたと聞いている。今はすたれたことを、きちんと家例として守っている新宮さん。美しい昔の宝を見る思いがします。

元旦の後光を拝む老夫婦 山田 久子
良き話一つ増えたる年始め 山田 悦
初日記俳句一句を記しけり 山田 千ヨ

短歌

事もなく今年も暮れゆく吾が家なり来る年もまたかくありたしよ 森山 みえ
みぞれ降る朝を出で来て夫と行く娘の住む街は透ける青空 佐藤 美智

■老人クラブ俳句教室 3月5日(火) 末広荘
■公民館句会 4月7日(日) 生涯学習センター
※出句締切 午後1時